

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成26年4月14日
【四半期会計期間】	第38期第2四半期（自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日）
【会社名】	株式会社クラウドディア
【英訳名】	KURAUDIA CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 倉 正治
【本店の所在の場所】	京都市右京区西院高田町34番地
【電話番号】	075(315)2345
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 鳴尾 好司
【最寄りの連絡場所】	京都市右京区西院高田町34番地
【電話番号】	075(315)2345
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 鳴尾 好司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第2四半期連結 累計期間	第38期 第2四半期連結 累計期間	第37期
会計期間	自平成24年9月1日 至平成25年2月28日	自平成25年9月1日 至平成26年2月28日	自平成24年9月1日 至平成25年8月31日
売上高(千円)	7,626,280	7,268,996	14,679,925
経常利益(千円)	721,301	428,635	814,469
四半期(当期)純利益(千円)	430,444	195,585	416,294
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	536,877	276,057	692,108
純資産額(千円)	7,317,002	7,564,961	7,380,568
総資産額(千円)	14,139,867	14,718,611	14,922,736
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	93.92	42.67	90.83
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	51.75	51.40	49.46
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	489,570	643,363	757,690
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	149,711	621,205	853,232
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	283,802	266,568	135,443
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	1,355,486	1,122,705	1,354,885

回次	第37期 第2四半期連結 会計期間	第38期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年12月1日 至平成25年2月28日	自平成25年12月1日 至平成26年2月28日
1株当たり四半期純損失金額 () (円)	62.28	62.95

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当企業グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、当社連結子会社であった株式会社つるや衣裳店は、平成25年9月1日付で当社連結子会社である株式会社クラウドディアコスチュームサービスを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当企業グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益の改善や個人消費の回復により景気回復の動きがみられました。しかしながら、消費税増税後は一時的な景気低迷の懸念もあり先行きは不透明な状況にあります。

このような経済環境のもと、当企業グループは、総合ブライダル「メーカー」としての位置づけを定着させるべく、婚礼衣裳のメーカー機能を軸としてブライダル市場のシェアアップに向け引き続き注力しております。

ホールセール事業においては、平成25年12月に「Scena D'uno（シェーナ・ドゥーノ）」の新作ドレスコレクション（「LOVELY GIRLS」、「ELEGANT LADIES」の2ライン）を発表いたしました。また、平成26年1月には創業40周年を記念いたしましたして、「40周年記念ドレス」を発表いたしました。これにより、当第2四半期連結会計期間の受注高は前連結会計年度に比べ増加しております。

業績面では、製・商品売上高が、引き続き、前連結会計年度からの受注高減少の影響により苦戦し、前年同四半期に比べ316百万円減少の1,459百万円と前年同四半期に比べ大幅な減収となりました。

ショップ事業の業績面は、国内インショップ店舗の既存店取扱件数が減少傾向にあることから、製・商品売上高は前年同四半期に比べ22百万円増加の712百万円と若干の増収となったものの、レンタル収入等が前年同四半期に比べ84百万円減少の1,391百万円と伸び悩みました。一方、リゾート挙式事業については、引き続き、ハワイ・沖縄が好調に推移した結果、売上高は前年同四半期に比べ104百万円増加の1,677百万円となりました。

式場事業においては、「アイネス ヴィラノッツェ 沖縄」（沖縄県名護市）、「ル・センティブオーリア」（大阪市港区）が堅調に施行組数を伸ばしましたが、「アイネス ヴィラノッツェ 宝ヶ池」（京都市左京区）、「アイネス ヴィラノッツェ 大阪」（大阪市北区）、「アイネス ヴィラノッツェ オーシャンポートサイド」（大阪府泉佐野市）の施行組数が伸び悩み、施行組数の合計は前年同四半期に比べ2組増加の672組となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,268百万円（前年同四半期比4.7%減）となりました。利益面では、主に見本費や広告宣伝費などのコスト削減を図り販売費及び一般管理費は4,237百万円と前年同四半期に比べ64百万円減少したものの、円安などの影響により売上原価が2,646百万円と前年同四半期に比べ8百万円増加（売上原価率は1.8ポイント上昇）したことから、営業利益は384百万円（同43.9%減）、経常利益は428百万円（同40.6%減）、四半期純利益は195百万円（同54.6%減）と前年同四半期に比べ大幅な減益となりました。

当企業グループは単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。

なお、事業部門別の売上高は、次のとおりであります。

	前第2四半期 連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	増減	増減率(%)
ホールセール事業 売上高(百万円)	2,353	2,013	340	14.5
製・商品売上高(百万円)	1,775	1,459	316	17.8
レンタル収入等(百万円)	577	553	24	4.2
ショップ事業 売上高(百万円)	3,739	3,781	42	1.1
製・商品売上高(百万円)	690	712	22	3.2
レンタル収入等(百万円)	1,476	1,391	84	5.8
リゾート挙式売上高(百万円)	1,573	1,677	104	6.7
式場事業 売上高(百万円)	1,532	1,473	59	3.8

（注）上記の数値は、事業部門内及び事業部門間の取引消去後となっております。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ609百万円減少し、3,602百万円となりました。これは主に、貸倒引当金の減少55百万円による増加、現金及び預金228百万円、受取手形及び売掛金252百万円、たな卸資産64百万円の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ405百万円増加し、11,115百万円となりました。これは主に、米国準州グアムのリゾート拳式施設用地496百万円の取得による土地472百万円の増加によるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ204百万円減少し、14,718百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ718百万円減少し、3,212百万円となりました。これは主に、1年内償還予定の社債75百万円、1年内返済予定の長期借入金122百万円、未払法人税等109百万円の増加、短期借入金700百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ330百万円増加し、3,940百万円となりました。これは主に、長期借入金425百万円の増加、社債97百万円の減少によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ388百万円減少し、7,153百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ184百万円増加し、7,564百万円となりました。これは主に、利益剰余金103百万円の増加、円安を背景に為替換算調整勘定が80百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は51.4%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが643百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが621百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが266百万円の支出となり、この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）期末残高は、1,122百万円（前年同四半期は1,355百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は643百万円（前年同四半期比31.4%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益405百万円、減価償却費305百万円を源泉とする収入があった一方で、仕入債務の減少36百万円、法人税等の支払額86百万円の支出によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は621百万円（前年同四半期は149百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得631百万円の支出によるものであります。

なお、有形固定資産の取得631百万円の内容は、主に米国準州グアムのリゾート拳式施設用地496百万円の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は266百万円（同283百万円の使用）となりました。これは、長期借入れによる1,072百万円の収入があった一方で、短期・長期借入金の返済1,224百万円、社債の償還22百万円、配当金の支払額92百万円の支出によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 主要な設備

新設、休止、大規模改修、除却、売却等について、当第2四半期連結累計期間に著しい変動があった設備は、次のとおりであります。

新設

会社名 事業所名 (所在地)	設備の内容	帳簿価額		
		建物及び 構築物 (千円)	土地 (千円) (面積㎡)	合計 (千円)
提出会社 未定 (米国準州グアム)	リゾート拳式 施設用地	301	496,638 (12,836)	496,939

- (注) 1. 当企業グループは単一セグメントであるためセグメント名称の記載を省略しております。
2. 当該リゾート拳式施設の開業の予定は未定であります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,000,000
計	19,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年2月28日)	提出日現在発行数(株) (平成26年4月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,844,600	4,844,600	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	4,844,600	4,844,600	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年12月1日～ 平成26年2月28日	-	4,844	-	1,071,590	-	1,102,138

(6)【大株主の状況】

平成26年2月28日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
有限会社クラエンタープライズ	京都市左京区下鴨南野々神町5-2	963	19.90
倉 正治	京都市左京区	897	18.53
株式会社クラウドディア	京都市右京区西院高田町34	261	5.39
ドイチェ バンク アー ゲー ロンドン ピービー ノトリティー クライアン ツ 613 (常任代理人 ドイツ証券株 式会社)	TAUNUSANLAGE 12. D-60325 FRANKFURT AM MAIN. FEDERAL REPUBLIC OF GERMANY (東京都千代田区永田町2丁目11番1号)	241	4.99
ノムラビービーノミニーズ ティーケーワンリミテッド (常任代理人 野村證券株式 会社)	1 ANGEL LANE. LONDON. EC 4R 3AB. UNITED KINGDOM (東京都中央区日本橋1丁目9-1)	169	3.50
クラウドディア従業員持株会	京都市右京区西院高田町34	153	3.16
クラウドディア取引先持株会	京都市右京区西院高田町34	99	2.06
日本マスタートラスト信託銀 行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	71	1.47
日本トラスティ・サービス信 託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	65	1.34
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	63	1.30
阿部 和広	徳島県徳島市	63	1.30
計	-	3,048	62.93

(注) 上記所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は次のとおりであります。

日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 71千株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 65千株

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成26年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 261,300	-	単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,576,300	45,763	同上
単元未満株式	普通株式 7,000	-	-
発行済株式総数	4,844,600	-	-
総株主の議決権	-	45,763	-

【自己株式等】

平成26年2月28日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社クラウドディア	京都市右京区西院高田町34番地	261,300	-	261,300	5.39
計	-	261,300	-	261,300	5.39

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年12月1日から平成26年2月28日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年9月1日から平成26年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表について、京都監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,409,316	1,180,747
受取手形及び売掛金	1,282,368	1,030,202
有価証券	-	10,000
商品及び製品	301,895	230,138
仕掛品	245,250	265,526
原材料	191,974	196,344
貯蔵品	120,681	103,088
繰延税金資産	268,244	267,905
その他	451,292	322,433
貸倒引当金	58,901	3,729
流動資産合計	4,212,123	3,602,656
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,798,560	6,897,577
減価償却累計額	2,382,704	2,602,188
建物及び構築物(純額)	4,415,855	4,295,389
機械装置及び運搬具	369,782	374,772
減価償却累計額	264,546	273,236
機械装置及び運搬具(純額)	105,236	101,535
工具、器具及び備品	731,232	764,020
減価償却累計額	539,686	581,734
工具、器具及び備品(純額)	191,546	182,286
レンタル衣裳	804,720	622,699
減価償却累計額	472,813	341,697
レンタル衣裳(純額)	331,906	281,002
土地	2,801,767	3,274,405
建設仮勘定	42,744	6,768
有形固定資産合計	7,889,057	8,141,387
無形固定資産		
借地権	35,862	37,589
のれん	118,588	101,647
その他	7,756	7,756
無形固定資産合計	162,207	146,992
投資その他の資産		
投資有価証券	118,625	109,559
保険積立金	233,904	243,855
差入保証金	2,104,385	2,086,055
繰延税金資産	168,512	158,237
その他	256,399	435,466
貸倒引当金	222,480	205,600
投資その他の資産合計	2,659,348	2,827,574
固定資産合計	10,710,613	11,115,954
資産合計	14,922,736	14,718,611

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	410,136	381,433
短期借入金	960,000	260,000
1年内償還予定の社債	45,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	951,986	1,074,396
未払法人税等	105,579	215,201
賞与引当金	175,752	179,772
役員賞与引当金	21,150	14,760
その他	1,261,992	967,201
流動負債合計	3,931,598	3,212,765
固定負債		
社債	675,000	577,500
長期借入金	2,121,177	2,546,715
役員退職慰労引当金	475,664	485,021
繰延税金負債	99,383	95,040
資産除去債務	196,078	197,336
その他	43,265	39,271
固定負債合計	3,610,569	3,940,884
負債合計	7,542,167	7,153,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,071,590	1,071,590
資本剰余金	1,228,876	1,228,876
利益剰余金	5,296,000	5,399,921
自己株式	316,193	316,193
株主資本合計	7,280,274	7,384,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	960	1,147
為替換算調整勘定	99,333	179,619
その他の包括利益累計額合計	100,294	180,767
純資産合計	7,380,568	7,564,961
負債純資産合計	14,922,736	14,718,611

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
売上高	7,626,280	7,268,996
売上原価	2,638,006	2,646,839
売上総利益	4,988,274	4,622,157
販売費及び一般管理費	4,301,831	4,237,282
営業利益	686,443	384,874
営業外収益		
受取利息	2,675	1,203
受取配当金	40	87
受取賃貸料	13,917	14,853
受取手数料	11,428	12,092
為替差益	103	-
助成金収入	8,811	14,689
その他	16,431	19,006
営業外収益合計	53,407	61,934
営業外費用		
支払利息	15,923	15,719
為替差損	-	144
その他	2,625	2,309
営業外費用合計	18,548	18,173
経常利益	721,301	428,635
特別利益		
固定資産売却益	138	2,669
特別利益合計	138	2,669
特別損失		
固定資産売却損	-	22
固定資産除却損	1,385	8,397
減損損失	-	17,825
投資有価証券評価損	999	-
保険解約損	64	-
特別損失合計	2,450	26,245
税金等調整前四半期純利益	718,990	405,059
法人税、住民税及び事業税	275,144	200,731
法人税等調整額	13,401	8,742
法人税等合計	288,545	209,474
少数株主損益調整前四半期純利益	430,444	195,585
四半期純利益	430,444	195,585

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	430,444	195,585
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,130	186
為替換算調整勘定	105,302	80,285
その他の包括利益合計	106,433	80,472
四半期包括利益	536,877	276,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	536,877	276,057
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	718,990	405,059
減価償却費	273,152	305,486
減損損失	-	17,825
のれん償却額	16,941	16,941
貸倒引当金の増減額(は減少)	39,324	27,253
賞与引当金の増減額(は減少)	9,534	3,121
役員賞与引当金の増減額(は減少)	46,910	6,390
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	9,357	9,357
受取利息及び受取配当金	2,715	1,291
支払利息	15,923	15,719
固定資産売却損益(は益)	138	2,647
投資有価証券評価損益(は益)	999	-
固定資産除却損	1,385	8,397
売上債権の増減額(は増加)	56,553	50,565
たな卸資産の増減額(は増加)	22,834	73,078
レンタル衣裳の増減額(は増加)	95,383	52,141
差入保証金の増減額(は増加)	27,500	11,801
仕入債務の増減額(は減少)	45,344	36,324
未払消費税等の増減額(は減少)	65,009	28,465
その他	18,193	211,343
小計	815,974	743,615
利息及び配当金の受取額	3,440	1,501
利息の支払額	16,064	15,716
法人税等の支払額	313,780	86,037
営業活動によるキャッシュ・フロー	489,570	643,363
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	2,004	-
定期預金の払戻による収入	79,021	-
投資有価証券の取得による支出	606	644
有形固定資産の取得による支出	233,136	631,643
有形固定資産の売却による収入	6,413	13,082
貸付けによる支出	-	3,000
貸付金の回収による収入	600	1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	149,711	621,205
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	360,000	700,000
長期借入れによる収入	-	1,072,000
長期借入金の返済による支出	529,602	524,052
社債の償還による支出	22,500	22,500
配当金の支払額	91,700	92,016
財務活動によるキャッシュ・フロー	283,802	266,568
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,280	12,230
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	75,336	232,180
現金及び現金同等物の期首残高	1,280,150	1,354,885
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,355,486	1,122,705

【注記事項】

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

株式会社つるや衣裳店は、株式会社クラウドディアコスチュームサービスを吸収合併存続会社、株式会社つるや衣裳店を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、平成25年9月1日付で連結の範囲から除外しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
受取手形裏書譲渡高	15,014千円	9,008千円

2. 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
有限会社貸衣裳東陣	1,971千円	2,183千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
見本費	138,272千円	118,581千円
広告宣伝費	382,349	323,718
給料及び手当	1,248,387	1,249,792
賞与引当金繰入額	154,620	155,579
役員賞与引当金繰入額	37,260	14,760
退職給付費用	27,756	28,570
役員退職慰労引当金繰入額	9,357	9,357
地代家賃	444,505	439,251
減価償却費	225,028	258,790
支払手数料	275,797	276,073
貸倒引当金繰入額	39,324	23,865

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
現金及び預金勘定	1,466,809千円	1,180,747千円
預入期間が3か月を超える定期預金	111,322	58,041
現金及び現金同等物	1,355,486	1,122,705

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年2月28日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月27日 定時株主総会	普通株式	91,664	20	平成24年8月31日	平成24年11月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年4月2日 取締役会	普通株式	91,664	20	平成25年2月28日	平成25年5月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年9月1日至平成26年2月28日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月26日 定時株主総会	普通株式	91,664	20	平成25年8月31日	平成25年11月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年4月1日 取締役会	普通株式	91,664	20	平成26年2月28日	平成26年5月12日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当企業グループは単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)
1株当たり四半期純利益金額	93円92銭	42円67銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	430,444	195,585
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	430,444	195,585
普通株式の期中平均株式数(株)	4,583,249	4,583,249

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

中間配当について

平成26年4月1日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・91,664千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・20円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・平成26年5月12日

(注) 平成26年2月28日現在の株主名簿に記載または記録された株主または登録質権者に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年4月14日

株式会社クラウドディア

取締役会 御中

京都監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 深井 和巳 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 山本 眞吾 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社クラウドディアの平成25年9月1日から平成26年8月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年12月1日から平成26年2月28日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年9月1日から平成26年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社クラウドディア及び連結子会社の平成26年2月28日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。